

(議決事項)

平成26年 1月14日

平成26年度国際放送番組編集の基本計画について

平成26年度の国際放送番組の編集については、別冊のとおり基本計画を策定したので、定款第13条第1項第1号クの規定により議決を得たい。

(別 冊)

平成26年度
国際放送番組編集の基本計画
(案)

平成26年1月14日

国際放送局

目次

編集の基本方針	1
編集の重点事項と各波の編集方針	
1. テレビジョン国際放送	2
2. ラジオ国際放送	4
3. インターネット	5
(付表)	6

編集の基本方針

NHKの国際放送「NHKワールド」は、平成26年度に、「国際発信力の強化」を掲げた経営計画の3年目を迎えます。

東日本大震災からの復興と再生が進む中、2020年夏のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決まり、日本に対する世界の関心が一段と強まっています。こうした期待や関心に応え、政治・安全保障・産業経済・社会など幅広い分野について、国際番組基準に従って迅速かつ客観的にニュースや番組を海外に伝え、日本への信頼を高めることがますます重要になっています。

英語によるテレビ国際放送「NHKワールドTV」は、これまでの編成を大幅に刷新し、視聴者の多様なニーズに応えます。ニュースでは日本の情報をさらに充実するとともに、アジアを中心とした世界の動きを、日本の観点を踏まえて的確に伝えます。番組では日本の伝統芸能や国際貢献など新たな分野を加え、番組数を増やします。

多言語によるラジオ国際放送「ラジオ日本」は、日本の最新情報や話題を日本語と17の言語で分かりやすく伝えます。また、地域の受信環境に応じた多様なサービスを展開するとともに、リスナーに身近な、きめ細かい放送サービスを推進します。

「NHKワールド」は、インターネットも積極的に活用し、ニュース・番組のPRを強化するなど、視聴機会の定着と拡大に努め、「日本およびアジアについて世界で最も信頼される情報源になること」を目指します。

編集の重点事項と各波の編集方針

1. テレビジョン国際放送

ONHKワールドTV（英語・外国人向け放送）

- ・基本編成を4時間枠から6時間枠に拡大

これまでの番組編成を刷新し、編成の基本単位となる1ブロックを、4時間から6時間へと拡大します。海外の視聴者の多様なニーズに応えるため、ジャンルを増やすとともに、NHKの豊富なアーカイブも活用して番組ラインナップを拡充します。

- ・ニュース発信の強化

ニュースは、国内での独自取材を増やすとともに、世界に広がるNHKの取材拠点と連携して、日本とアジアの情報発信を一層強めます。さらに、BS1の国際報道番組と連動し、中国や東南アジアに関するニュースや特集を拡充します。また、日本の深夜時間帯にニューヨークから経済情報を伝えるコーナーを新設します。

- ・新たな分野の開拓

数々のコンクールで国際的な評価が高まる「日本映画」や、ユネスコの無形文化遺産である「歌舞伎」など、これまで国際放送が困難だったこれらの番組も新たに加え、幅広い視聴者の期待に応えます。また、優れた技術や人材を生かした発展途上国支援の最前線を紹介し、国際社会に貢献する日本の姿を伝えます。

〔放送時間〕

世界全域…1日23時間以上が基本

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

ONHKワールド・プレミアム（日本語・在外邦人向け放送）

・最新のニュース・情報番組

国内で放送するニュース・情報番組や海外の動きを伝えるニュース番組のほか、東日本大震災からの復興と再生への取り組みを伝える番組、各地の表情を伝える番組など、内外の最新情報を届けます。

・「安全」と「安心」を支える情報

海外で暮らす日本人や旅行者の重要なライフラインとして、内外で起きた大規模な地震、津波などの自然災害や、事件・事故などの緊急事態発生時には速やかにニュースを特設するなど、迅速・的確な情報の提供に努めます。

〔放送時間〕

世界全域に向けた同一の番組編成…1日およそ5時間

北米・欧州地域に向けた、現地の生活時間にあわせた番組編成

…各1日およそ5時間

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組80%以上、インフォメーション番組5%以上、娯楽番組を若干編成します。

2. ラジオ国際放送

ONHKワールド・ラジオ日本

(多言語・外国人向けサービス)

・地域の特性に応じた多様な放送サービスの推進

日本の最新情報や話題を17の言語を通じて、現地の言葉で分かりやすく伝えます。地域の特性や受信環境に応じて、中波・FM波や衛星ラジオによる再送信、インターネットなども活用し、より身近な放送を目指します。

・ニュース・番組の充実

災害などの緊急時には機動的な編成に努め、最新のニュースを迅速・的確に伝えます。番組では幅広い情報を多角的に伝えるほか、リスナーとのつながりを深める企画に取り組むなど、一層の充実を図ります。

〔放送時間〕

17言語・合計…1日あたり34時間40分

- ・短波 24時間10分
- ・中波・FM 6時間15分（短波と重複する放送時間を除くと4時間45分）
- ・衛星ラジオ 31時間40分
- （短波、中波・FMと重複する放送時間を除くと5時間45分）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(日本語・在外邦人向けサービス)

・最新のニュース・多彩な番組の提供

国内の主要ニュース、時事番組、スポーツ中継、音楽番組、ラジオドラマなどの番組を国内と同時に放送し、日本の多彩な情報を伝えます。

〔放送時間〕

日本語…1日あたり24時間

- ・短波 20時間
- ・衛星ラジオ 24時間（短波と重複する放送時間を除くと4時間）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上、娯楽番組を若干編成します。

3. インターネット

ONHKワールド・オンライン

- ・インターネットを通じた視聴機会の拡大

インターネットを通じたテレビ視聴が広がっている世界の流れをとらえ、モバイル端末をはじめ、多様な機器を通して「NHKワールド」が世界各国の視聴者や日本を訪れる外国人旅行客に手軽に見てもらえるよう、アプリの改善・開発や配信手段の検証を進めます。また、英語ニュースのホームページ掲載期間を延長し、視聴機会の拡大につなげます。

- ・多言語展開の強化

11言語で提供しているテキストニュースに新たに3言語を加え、多言語情報サービスをより拡充します。また、「ラジオ日本」のニュース・番組と連動するホームページやライブストリーミング、オンデマンド提供など、多言語コンテンツの効果的な展開に引き続き努めます。

- ・ホームページの機能・利便性向上

PC、タブレット、スマートフォン、それぞれの端末に適したレイアウトで表示し、見たいコンテンツにすぐに到達できるようにするなど、ホームページの機能・利便性の向上を図ります。また、Facebook や Twitter 等の SNS を活用して情報伝達ルートを広げ、ホームページへのアクセス増と「NHKワールド」の存在感を一層高めます。

(付表)

<短波放送>

使用言語	放送区域	放送時間
日本語	中米、南米、中東・北アフリカ、アフリカ 極東ロシア、朝鮮、アジア大陸（北部） アジア大陸（中部）、東アジア、アジア大陸（南部） フィリピン・インドネシア、東南アジア 南西アジア、豪州・ニュージーランド	20時間
英語	欧州、アフリカ、アジア大陸（南部） フィリピン・インドネシア、東南アジア 南西アジア、豪州・ニュージーランド	24時間10分
中国語	朝鮮、アジア大陸（北部）（中部） 東アジア	
朝鮮語	朝鮮、アジア大陸（北部）（中部） 東アジア	
ロシア語	欧州、極東ロシア	
インドネシア語	アジア大陸（南部） フィリピン・インドネシア 東南アジア	
タイ語		
ベトナム語		
ビルマ語	南西アジア	
ベンガル語		
ヒンディー語		
ウルドゥー語	アフリカ	
フランス語		
ペルシャ語	中東・北アフリカ	
アラビア語		
スワヒリ語	アフリカ	
スペイン語	中米、南米	
ポルトガル語	南米	
18言語	15区域	

<中波・FM放送>

使用言語	放送区域	放送時間	短波と重複する 放送時間を除く
ロシア語	欧州	6時間15分	4時間45分
インドネシア語	アジア大陸（南部） フィリピン・インドネシア 東南アジア		
ベンガル語 ウルドゥー語	南西アジア		
ペルシャ語 アラビア語	中東・北アフリカ		
スワヒリ語	アフリカ		
ポルトガル語	南米		
8言語	8区域		

<衛星ラジオ放送>

使用言語	放送区域	放送時間	短波、中波・FMと重複する放送時間を除く
日本語	全区域	24時間	4時間
英語・中国語・朝鮮語 ロシア語・インドネシア語 タイ語・ベトナム語 ビルマ語・ベンガル語 ヒンディー語・ウルドゥー語 フランス語・ベルシャ語 アラビア語・スワヒリ語 スペイン語・ポルトガル語	全区域	31時間40分 (※1、2含む)	5時間45分
英語・インドネシア語・タイ語 ウルドゥー語・フランス語 ベルシャ語・アラビア語 スワヒリ語	欧州、中東・北アフリカ	※1 12時間20分	
英語・中国語・朝鮮語 ロシア語・タイ語・ベトナム語 ビルマ語・ベンガル語 ヒンディー語・ウルドゥー語	極東ロシア、朝鮮 アジア大陸（北部） アジア大陸（中部） 東アジア、アジア大陸（南部） フィリピン・インドネシア 東南アジア、南西アジア	※2 14時間25分	
18言語			9時間45分